



本店



上空から見た長岡市街

新潟の四季

春



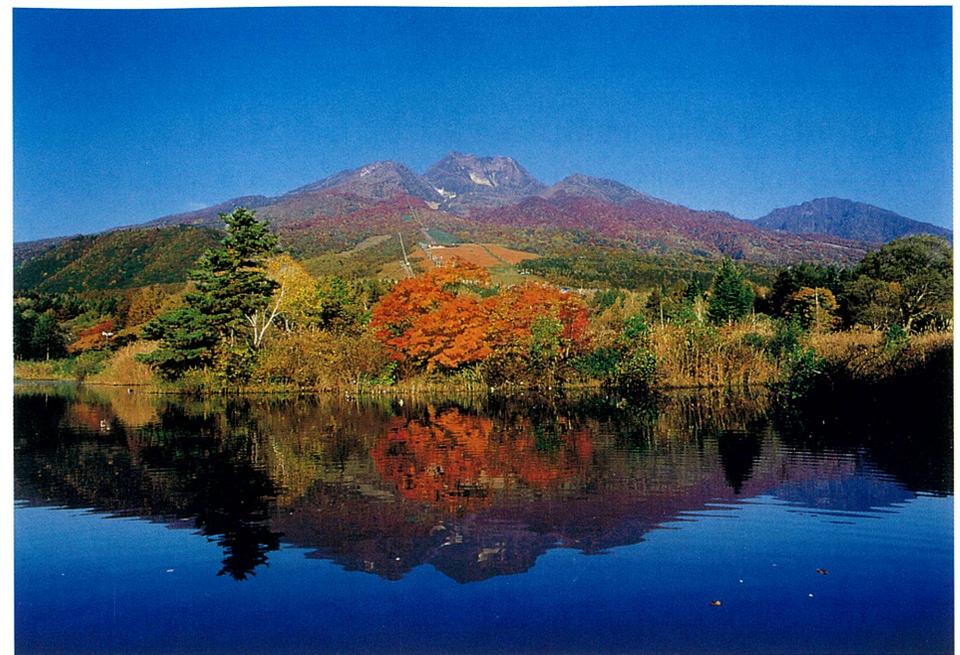
県の花・チューリップと万代橋

夏



日本一の長岡の花火

秋



紅葉の妙高山といもり池

冬



冬の新発田城

刊行にあたって

平成9年12月20日、北越銀行は創業120年を迎えることができました。

この間、『創業百年史』（昭和55年7月）、『北越銀行史－110年のあゆみ－』（昭和63年6月）を刊行いたしました。そして、このたび、『北越銀行史－120年のあゆみ－』をここに発刊させていただきました。

顧みますと、「昭和」から「平成」へと改元されたこの10年間のあゆみは、バブルの発生とその崩壊に伴う不況、さらに金融システムの大変革と、かつて経験したことのない環境の変化に遭遇し、特に激動のなかでの困難な、幾つかの課題を抱えた時代でありました。

こうしたなか、当行は、幾多の困難を克服しながら地域に密着する姿勢を堅持し、地域社会とともに成長を続けることができました。これもひとえに、皆様のご支援の賜と深く感謝申し上げる次第であります。

そして、21世紀を目の前にしてこれから、私どもは、120年にわたる歴史の重みを肌を感じ、全行員一丸となって必死に生き抜いてゆかなければならない「金融ビッグバン」の時代を迎えることになりました。金融界に対して大いなる変革が求められております。

当行は、新しい時代に対応できる地域に根ざした銀行として、顧客に信頼され、社会的責任を全うできるよう努力したいと考えております。それには、今こそ原点に立ち返り、積極かつ柔軟な姿勢で変革に対応してゆかなければ

ならないと決意しております。いかなる変革のなかにあっても、創業時の精神でありました「信を以て万事の本となす」の心を忘れずに、「不変の原理」を貫き、地域の皆様とともにあゆみ続けてまいり所存であります。

この小史をご高覧賜り、当行に対するご理解を深めていただき、併せてご支援、ご愛顧を心からお願い申し上げる次第であります。

終わりに、本史の刊行にご尽力いただいた皆様に心からお礼申しあげ、刊行にあたってのご挨拶とさせていただきます。

平成10年6月30日



取締役頭取 高田正一

現役員



常勤監査役 高木征四郎	常勤監査役 石田 繁	取締役 田中 昭	取締役 野崎 國昭
監査役 永井 淳夫	監査役 鈴木 吉男	専務取締役 高橋 正康	取締役会長 中山 真



平成10年3月31日現在

取締役 長谷川富雄	取締役 池田 徹	取締役 横山 辰男	取締役 角原 紀男	取締役 室伏 隆篤	取締役 野口 強
取締役頭取 高田 正一	専務取締役 鳥羽 寛	常務取締役 矢島 賢造	常務取締役 堀 健治	常務取締役 佐納 幸夫	

行 是

北越銀行は

広く金融サービスを提供し
顧客に信頼され

役に立つ銀行として

地域社会の発展に貢献する

行 訓

- 一、目標に向かって力を合わせよう
- 一、積極的に行動しよう
- 一、信頼と期待にこたえよう
- 一、自己啓発にしよう
- 一、あしがらぎをひるばよう